



チャレンジ

校長 窪田 俊介

温かな春の日差しに恵まれ、4月5日に入学式を無事終えることができました。今年度は、新1年生85名が入学し、全校児童433名で令和6年度の木津小学校がスタートしました。ご家庭や地域と連携しながら、子供たちの健やかな成長のために一生懸命努めて参りたいと思います。

昨年度より、子供たちには「何事にも挑戦する気持ち」を大切にしてほしいと伝えてきました。今年度も「チャレンジ」を全員のキーワードとして、あらゆる教育活動において前向きに取り組もうとする子供の育成を目指していきたくと考えています。始業式においては、子供たちに、こんな木津っ子になってほしいという3つの願いを、伝えました。

① 目標に向かって挑戦することができる子供

「なりたい自分」や「できるようにになりたいこと」の実現に向けて、積極的に挑戦することができる子供になってほしいと思います。失敗を恐れず、挑戦し続けることが大きな成長につながると考えています。

② 自分で考えて行動できる子供

変化の激しい予測困難な社会を生き抜いていくには、自分の考えをしっかりともち、行動できる力を身に付けていく必要があると考えています。学校生活においても、「自分はどう思うのか」「自分はどうしたいのか」など、常に考えをもつことができる子供になってほしいと思います。

③ 自分の気持ちや思いを積極的に表現できる子供

「大きな声で返事や挨拶をする」「感謝の気持ちを言葉で素直に伝える」「自分の意見や考えを人前で発表する」などといったことができる子供になってほしいと思います。

今年度は、これら3点を達成していけるよう指導を進めていきたいと考えています。そのためのスローガンを、昨年度と同じ「**考えて 心をかたちに チャレンジ**」と設定しました。保護者や地域の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

離任式 4/8

昨年度いろいろな場面でお世話になった教職員の方々の離任式が行われました。お別れすることとなった6名の教職員の方々に対して、代表児童がお礼の言葉を伝えるとともに、花束を贈呈しました。木津っ子全員が離任される先生方と共に過ごした時間を思い出し、別れを惜しましました。



春見付け

今年度は4月の第2週に桜の花が満開を迎えました。天候も暖かく穏やかな日が多かったため、複数の学年が木津彩都公園まで春を見付けに出かけてきました。川沿いに満開に咲いた桜の花以外にも、春を感じさせるタンポポやオイヌノフグリを見付けるなど、春を満喫してきました。



